

“改憲”の波を押し返し、戦争する国を許さない市民集会

憲法 9 条を守る市民の行動を京都全体で広げよう

参議院選挙の結果は、自民党・公明党・維新の会・国民民主党など改憲をめざす党が、非改選議席と合わせて、国会発議に必要な総議員の三分の二以上を獲得する結果になりました。自民党は、「9 条への自衛隊明記」と「緊急事態条項の新設」に力点を置き、「具体案作成」に踏み出す意向を表明しています。

一方、「改憲」への世論は、ウクライナへのロシアの侵略戦争に影響を受けながらも、「急ぐ必要がない」(58.4%)との声が、「急ぐべきだ」(37.5%)を大きく上回る事態(7月11日、12日共同)となっており、安倍元首相の国葬問題や統一教会と自民との癒着が明らかになる中で、岸田内閣の支持率は急落しています。

憲法改悪を許すか、否かは、私たちの世論と運動が決めます。9条改憲NO!全国市民アクション・京都は、下記の日程で、改憲の波を押し返し、戦争する国を許さない市民集会を開きます。集会では、自民党などが狙う「9条への自衛隊明記」と「緊急事態条項の新設」の危険性について改めて学習するとともに、各グループ・市民から、この波を押し返すための意見や運動提案を行います。皆さんの積極的な参加と提案をお待ちしています。

日時：8月30日(火)午後6時半開場—7時~8時半

会場：ハートピア京都大会議室

(会場費 500 円)

*ZOOM あり。事前申し込みを!

主催：9条改憲NO!全国市民アクション・京都

(安保法制の廃止をめざす市民アクション@きょうと・京都憲法共同センター・
憲法9条京都の会・戦争させない1000人委員会京都連絡会)